

新潟市内文化芸術活動現況調査 結果報告の概要

調査対象	新潟市を拠点として文化芸術活動にかかわっている方 (文化芸術団体構成員、アーティスト及び関係者等)
実施期間	2020年4月13日(月)～5月6日(水)
調査方法	インターネット調査(Googleフォームによる)
有効回答数	121
実施主体	公益財団法人新潟市芸術文化振興財団 アーツカウンシル新潟 (新潟市中央区白山浦1丁目613番地69)

- 文化芸術活動へのかかわりについては、「演奏や出演、指導等をすべての収入源としている」及び「演収入源の一部としている」の回答が半数以上あった。
- 収入の半分以上を占める回答者を加えると6割以上が生業として文化芸術活動を行っていることがわかる。

図 文化芸術活動へのかかわり (n=118)

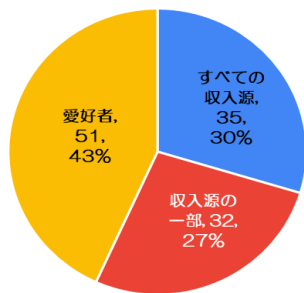
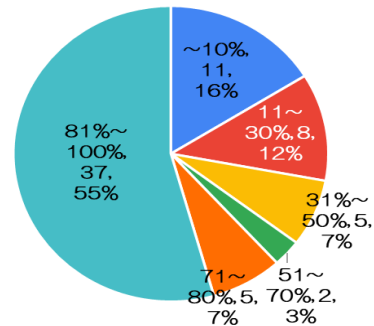


図 収入に占める割合 (n=68)



2020年2月以降の新型コロナウイルスの影響

中止・延期となった公演・イベント等

- 公演・イベント等が中止または延期となったという回答が約9割となり、2020年2月以降の新型コロナウイルス感染の拡大の影響を受けていることが明らかとなった。
- 補償や融資の相談・申請については「相談も申請もしない」の回答が半数を超えており、経済的支援策に対するニーズはそれほど多くないと言える

図 中止・延期の有無 (n=119)

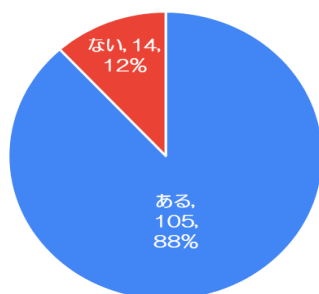
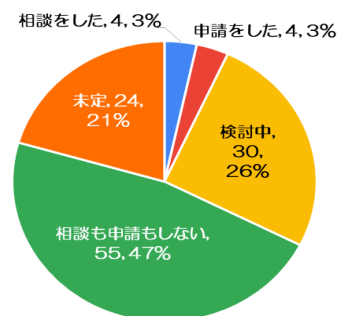


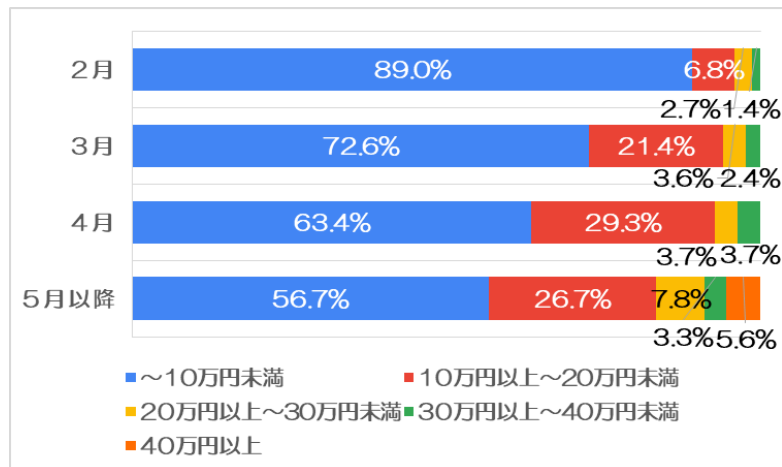
図 補償や融資の相談・申請 (n=117)



中止・延期されたことにより、受け取れない謝金や出演料などの総額（損失額）

- 中止・延期されたことにより自身が受け取れなくなった謝金や出演料などの総額、すなわち損失額については、中止・延期となった公演・イベント等の件数に伴い、「～10万円未満」が2月には89.0%であったが、3月が72.6%、4月が63.4%、5月以降が56.7%と徐々に影響が拡大していることがわかる。5月以降には、損失額が「40万円以上」になるとの回答が5件あり、中長期化することによって経済的損失も少しずつではあるが拡大していくことが想定される。

図 月別の損失額（n=73～90）



今、困っていることや心配なこと

- 今、困っていることや心配なことについては、「活動ができない」が92件と最も多く、次いで「今後の活動方針」（83件）、「収入の確保」（54件）、「情報の不足」（27件）及び「中止や延期にかかる手続き」（18件）の順になっている。
- 補償や融資の相談・申請に対するニーズが少ない一方で、収入の確保が課題となっている場合が多くあることから、行政が示している支援策と文化芸術活動にかかわっている方々の間にミスマッチあるいは情報伝達の不足があることが考えられる。

図 今、困っていることや心配なこと（MA, n=117）

